

マテリアリティの2020年度目標と実績

○：計画通り △：遅れあり

カテゴリー	マテリアリティ	主な取り組み内容	2020年度目標	指標	2020年度実績	自己評価	掲載ページ	関連するSDGs
E：環境	気候変動・エネルギー問題への対応	2030年での新車CO ₂ 排出量▲40% (2010年度比)	最新の経営計画にもとづく新車CO ₂ 排出量の把握、および把握した結果と目標のギャップを解消する施策の次期商品計画への反映	取り組みの進捗	最新の経営計画にもとづいて新車CO ₂ 排出量を把握し、次期商品計画に反映	○	P28	 
			—	CO ₂ 排出量	▲14%	—		
		2030年での電動車販売比率50%	最新の経営計画にもとづく電動車販売比率の把握、および把握した結果と目標のギャップを解消する施策の次期商品計画への反映	取り組みの進捗	最新の経営計画にもとづいて電動車販売比率を把握し、次期商品計画に反映	○		
			—	電動車販売比率	8%	—		
		2030年での事業活動CO ₂ 排出量▲40% (2014年度比)	各拠点のCO ₂ 排出目標の把握・評価	取り組みの進捗	各拠点の目標および実績を確認のうえ、社全体としての取り組み状況を把握・評価	○		
	—	CO ₂ 排出量	▲37%	—				
		気候変動への適応策の実施	電動車を活用した電力供給システムなどの災害対策施策の推進	取り組みの進捗	電動 DRIVE STATION/HOUSE、DENDO コミュニティサポートプログラム、V2X 実証事業などの施策を実施	○		
	資源循環の取り組み	脱石油資源プラスチック材の採用拡大	車両における脱石油由来プラスチック材使用率の拡大に向けたロードマップ作成	取り組みの進捗	脱石油由来プラスチック材の使用拡大を検討する車種および部品を明確化。2025年度目標および施策をまとめたロードマップを作成	○	P38	
				取り組みの進捗	・国内工場：達成 ・海外工場：環境パフォーマンス管理システムによる廃棄物データの管理運用を開始	○		
		2030年度に直接埋立廃棄物ゼロ化 (0.5%未満)	・国内工場：直接埋立廃棄物ゼロ (0.5%未満) ・海外工場：データの把握開始	取り組みの進捗		○		
	電動車の使用済みバッテリーの再利用	岡崎製作所に電力貯蔵システム（BESS（※1））を導入してリユースバッテリーの活用課題検証を開始	取り組みの進捗	BESS実証試験の設備を設置し、VPP（※2）実証試験を実施	○			
環境汚染の防止	製品含有環境負荷物質の適切な管理	管理対象物質の適切な管理	取り組みの進捗	規制物質の情報入手、社内管理システムの改修、新規規制物質の含有調査などを実施	○	P41	  	

※1：BESS：Battery Energy Storage System.

※2：VPP：Virtual Power Plant. 情報通信技術などにより、分散するエネルギーリソースを統合的に制御し、あたかも一つの発電設備のように機能する仮想発電所

○：計画通り △：遅れあり

カテゴリー	マテリアリティ	主な取り組み内容	2020年度目標	指標	2020年度実績	自己評価	掲載ページ	関連するSDGs	
E：環境	水資源の保全	各拠点の水リスクを踏まえた管理の実施	水使用量を把握する拠点数の拡大	水使用量把握拠点数	海外拠点の水使用量実績を把握	○	P46		
	生物多様性の保全	国内拠点の生態系調査を生かした保全活動の推進	・国内拠点での在来生物の育成・保護 ・国内外での植林・育林活動の実施	各取り組み項目の実施	・京都工場でのビオトープ(※1)づくり ・パジェロの森(山梨県)での植林・育林活動の実施 ・タイでの植林プロジェクト開始	○	P49		
S：社会	道路交通事故の削減に寄与する製品の提供	道路交通事故の削減に寄与する製品の提供	安全技術ごとの基本指針を計画通り策定	策定実績	計画通り策定	○	P53		
	製品品質、セールス・サービス品質の向上	製品品質の向上	新車販売後3カ月間の不具合指摘率のさらなる低減	新車販売後3カ月間の不具合指摘率	低減目標を達成	○	P57	—	
		セールス品質の向上	SSI(セールス満足度)ASEAN5において、業界調査3位以内(※2)	SSI(セールス満足度)	SSI(セールス満足度)ASEAN5において、5カ国中3カ国が目標達成	△			
		サービス品質の向上	CSI(サービス満足度)ASEAN5において、業界調査3位以内(※2)	CSI(サービス満足度)	CSI(サービス満足度)ASEAN5において、5カ国中5カ国が目標達成	○			
	事業を通じた地域経済への貢献	雇用	現地雇用の持続的な創出	雇用実績	雇用実績	タイ、インドネシア、フィリピン、ベトナムで、現地従業員計1万1千人(非正規雇用含む)の雇用創出	—	P64	  
		人材育成	地域経済の発展を担う人材の成長支援	研修件数 参加者数	代表的な研修 ディーラースタッフに向け営業・サービス研修/現地社員に向け業務レベル強化セミナー/技術向上に向け「ものづくり教育」研修/内部統制、コンプライアンス研修	○			
投資		地域経済の成長を支える設備投資の継続実施	投資計画の進捗	主な投資計画 タイ塗装工場更新、太陽光発電設備設置/フィリピン・アセアン向け商用車輸出準備/ベトナム新工場検討	○				

※1：ビオトープ：生物が自然な状態で生息している空間

※2：2020年度に業界調査の実施がない国に関しては自社調査で目標を設定(インドネシア、フィリピン、マレーシア)

○：計画通り △：遅れあり









カテゴリ	マテリアリティ	主な取り組み内容	2020年度目標	指標	2020年度実績	自己評価	掲載ページ	関連するSDGs
S：社会	事業を通じた地域経済への貢献	技術移転	現地生産の継続による地域の製造業の高度化支援	プロジェクトの進捗	主なプロジェクト ベトナム、マレーシアで『エキスパンダー』の現地生産を開始/タイ、インドネシア、フィリピン、ベトナムで、職業訓練校や技術系大学に奨学金付与、実習車両提供、訪問授業を実施	○	P64	
			エンジン現地生産化	事業性KPI目標	事業性、KPI目標を達成し、インドネシアにてエンジン量産を開始	○		
		輸出	輸出による外貨獲得を通じた地域経済の成長支援	輸出台数実績	輸出台数、タイ20.2万台、インドネシア3.9万台	○		
		環境・社会貢献	当社独自技術・サービスを生かした地域社会問題の解決支援	貢献実績	『アウトランダー PHEV』を活用した取り組みを実施 タイで『アウトランダー PHEV』の生産開始、インドネシアで赤十字に貸与の『アウトランダー PHEV』が新型コロナウイルス感染症防止活動に従事など	○		
新しい常態に対応した働き方改革の推進（ダイバーシティ、ワーク・ライフ・バランス）	働き方改革の促進	働き方改革施策の継続実施	時間外労働時間（事技系列）(※1)	18.7時間/月	△	P67		
			有給休暇取得（事技、技能(※2)、医務系列(※3)）	19.3日/年	○			
			在宅勤務率（田町地区）	77%（年度平均）	○			
		女性活躍の推進	女性活躍を推進するため継続的な施策の実施	女性管理職数	79人（2021年4月時点）			△
		障がい者雇用の促進	障がい者雇用促進の継続	障がい者雇用率	2.36%（2021年3月時点）			○
人材育成の強化	Web研修の活用・定着	事技系研修を100% Web受講可能な状態で実施	教育プログラム	新型コロナウイルス感染症の影響で集合研修の開催が困難となったことを背景に事技系研修の100%オンライン化達成	○	P73		

※1：事技系列：企画・調整・研究・調査など事務技術的業務を行う社員

※2：技能系列：直接生産作業や部品供給、設備保全、検査などの補完業務を行う社員。または、それらに関する監督・指揮、技能指導、現場支援などを行う社員

※3：医務系列：医師、薬剤師、看護師などの医療衛生関係業務を行う社員

○：計画通り △：遅れあり

カテゴリー	マテリアリティ	主な取り組み内容	2020年度目標	指標	2020年度実績	自己評価	掲載ページ	関連するSDGs
S：社会	労働安全衛生の推進	安全な職場づくり	安全な職場づくり施策の継続	全災害度数(※)	0.30	△	P77	
	持続可能なサプライチェーンの実現	サプライチェーンCSRの強化	<ul style="list-style-type: none"> 「サプライヤー CSR ガイドライン」を当社海外生産拠点へ展開 取引先のCSR第三者評価実施の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 「サプライヤー CSR ガイドライン」の趣旨浸透 取引先におけるCSR第三者評価の推奨 	<ul style="list-style-type: none"> 「サプライヤー CSR ガイドライン」をタイ、インドネシア、フィリピンの生産拠点よりそれぞれの取引先へ展開済 取引先に対して「第三者評価」の趣旨説明を実施。評価開始済 	○	P84	  
	社会貢献活動の推進	社会課題や地域ニーズに即した、継続的な活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 社会貢献活動方針の見直し ロゴマークを活用した情報発信の強化 	—	<ul style="list-style-type: none"> 新・社会貢献活動方針の策定、対外発表 ロゴマークを活用したグローバルな情報発信の実施 	○	P88	 
G：ガバナンス	ガバナンスの強化とコンプライアンスの徹底	内部統制委員会の運用	年2回開催し、執行役社長に内部統制状況および評価を報告	内部統制委員会	4月と11月に委員会を開催済	○	P95	 
		重大インシデントの発生防止	効果的な内部統制による重大インシデントの発生防止	重大インシデント	発生なし	○		

※：延べ100万労働時間あたりの休業・不休災害件数